

for 45

40代のお客様に。

こんなお悩み
ありませんか？

目の疲れを
感じていたが、
いよいよ
小さい文字が
見えづらくなってきた



その理由は、**調節力***の低下にあります。 ※近くにピントを合わせる力

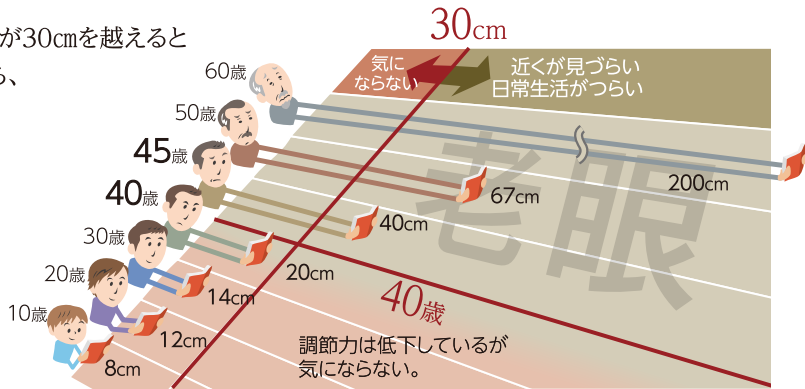
45歳は
目の曲がり角。

理由 日常生活の不便さを感じる近点30cmのラインを40代で越えるから。

調節力が低下して、近点*が30cmを越えると
これまでの「目の疲れ」から、
「近くが見づらい」と
実感するようになります。

※近点とは：ピントが合う最も近い距離

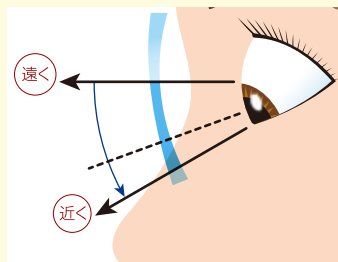
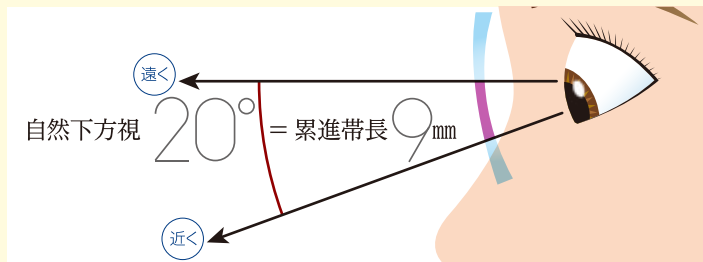
年齢と共に遠くなる近点
※数値には個人差があります。



おすすめの遠近両用レンズ **ベルーナ エナジー** あります！

エナジー(累進帯長9mm)の場合
近くを見るための視線移動が短く、自然でラク

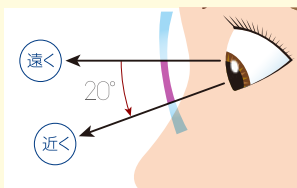
一般的な累進帯長の場合
近くを見るためには、長めの視線移動が必要



人間
ERGONOMICS
工学

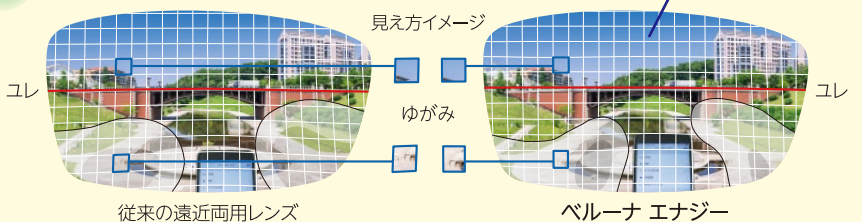
人間工学では、眼球運動の垂直面での最適範囲は20°とされています。これをレンズ上での長さ置きかえると約9mmとなります。

1 視線移動がラク



自然な視線移動は20°です。

2 ユレ・ゆがみが少なく、広い遠方視野



3 おしゃれなフレームが選べる



フレーム選択の幅が広がります。

4 人が見ても遠近両用と分からない

遠近両用特有の
あごを上げて手元を見るしぐさを
改善します。



自然な視線移動で、慣れやすい遠近両用レンズ「ベルーナ エナジー」誕生！

BELUNA
ENERGY
ベルーナ エナジー



for 65 60代のお客様に。

こんなお悩み
ありませんか？

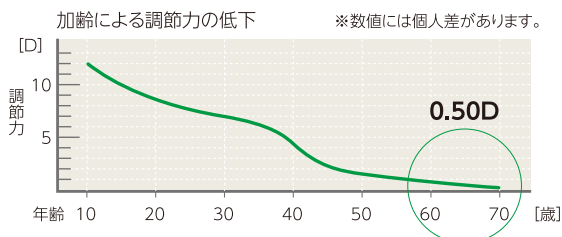
遠近両用メガネは
重宝しているが、
手元の見え方が
物足りない



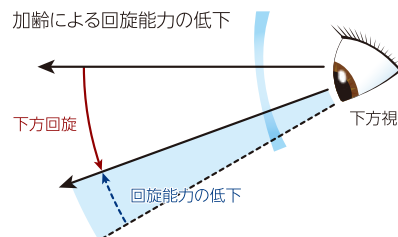
その理由は、**調節力***の低下にあります。 ※近くにピントを合わせる力

65歳は
第二の
目の曲がり角。

理由1 調節力がゼロに近づくから。



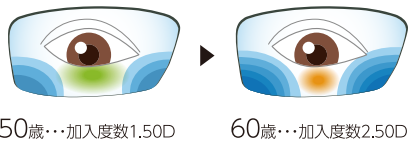
理由2 下方回旋がしづらくなるから。



遠近両用レンズで強い加入度数*が必要となります。 ※加入度数とは：近くを見るための度数

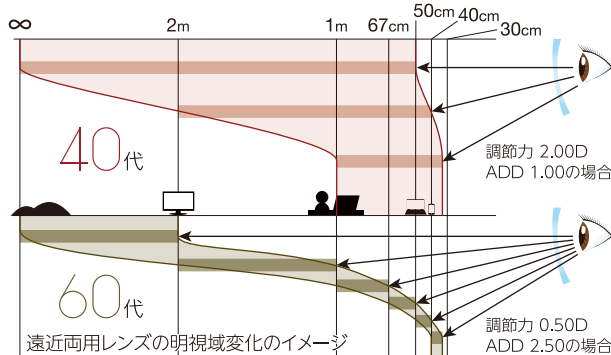
● 近くを見る範囲が狭くなる。

加齢により調節力の低下は進み、60歳になる頃には強い加入度数が必要となり、手元の見え方に物足りなさを感じるようになります。



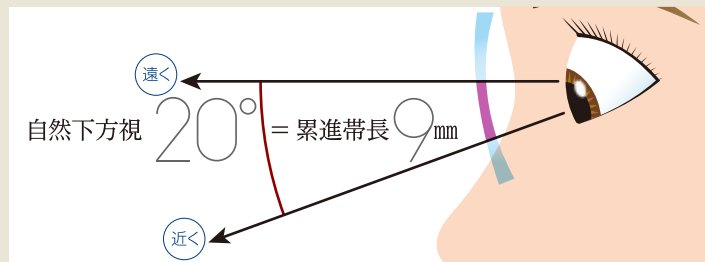
● 明視域が狭くなる。

40代ではまだ調節力があり、明視域が広いのですが、60代では調節力がなくなり、特に手元の明視域が狭くなります。

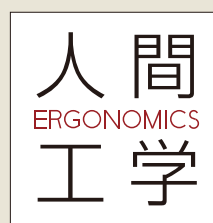
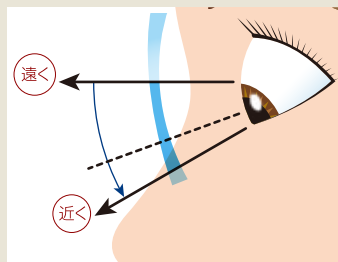


おすすめの遠近両用レンズ **ベルーナ エナジー** あります！

エナジー(累進帯長9mm)の場合
近くを見るための視線移動が短く、自然でラク

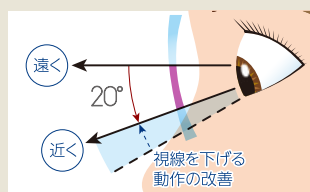


一般的な累進帯長の場合
近くを見るためには、長めの視線移動が必要



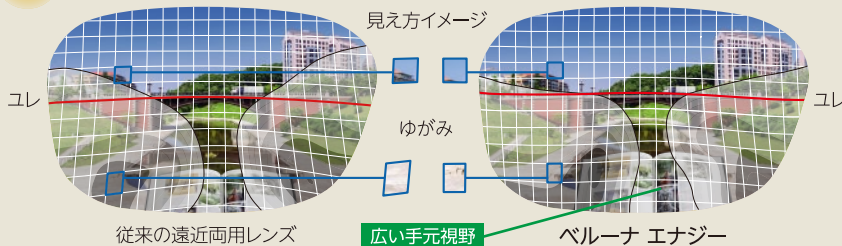
人間工学では、眼球運動の垂直面での最適範囲は20°とされています。これをレンズ上での長さ置きかえると約9mmとなります。

1 近くがラク



視線移動が少ない

2 ユレ・ゆがみが少なく、広い手元視野



自然な視線移動で、手元が快適に見える遠近両用レンズ「ベルーナ エナジー」誕生！

BERUNA
ENERGY
ベルーナ エナジー

